

科目名	ミクロ経済学Ⅱ	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			経済学科	□ 必修 ■ 選択
英文表記	Microeconomics II	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年	
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	たむら ひであき	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	田村 英朗	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	価格と市場の動きは、経済学の基礎の第一歩です。焦らずにじっくりと学んでいきます。			
到達目標	この講義受講により、ミクロ経済学の考え方の基本を理解し、単に教科書的に説明できるだけでなく、実生活面でも応用できるようになる。			
授業概要	テキストに沿って解説していきます。時々、応用問題を交えて理解を深めていきます。 なお、授業におけるPC活用方法について適宜、指示する場合がありますので留意して下さい。			
授業計画				
第1回	完全競争企業の生産行動			
第2回	損益分岐点と操業停止点、供給曲線(1)費用曲線、利潤の計算、損益分岐点			
第3回	損益分岐点と操業停止点、供給曲線(2)操業停止点、供給曲線、			
第4回	市場均衡と安定性(1)ワルラス調整過程、マーシャル調整過程			
第5回	市場均衡と安定性(2)クモの巣調整過程、均衡の重要性、完全競争市場均衡			
第6回	完全競争市場の長期均衡			
第7回	独占企業の生産行動、価格差別			
第8回	不確実性と情報(2)条件付き財の取引、情報の非対称性			
第9回	ゲーム理論			
第10回	余剰分析(1)望ましさ～効率性と公平性～、パレート最適、余剰分析			
第11回	余剰分析(2)完全競争市場の余剰分析、独占市場の効率性、課税の効果			
第12回	外部効果(1)外部不経済・外部経済とは、私的限界費用と社会的限界費用、外部不経済と効率性			
第13回	外部効果(2)ピグー税、コースの定理、外部経済の非効率			
第14回	公共財、逆選択・モラルハザード			
第15回	復習			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 授業で配るプリントや課題に十分に取り組んでください。(1時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通すようにしてください。(0.5時間程度)			
履修条件 受講のルール	テキストに沿って講義を進めるので、必ず購入してください。なお、適宜資料を配布しますが、事前に連絡が無く欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。			
テキスト	石川 秀樹『単位が取れるミクロ経済学ノート』講談社、2009年。			
参考文献・資料	西村 和雄『現代経済学入門 ミクロ経済学(第3版)』岩波書店、2011年。			
成績評価の方法	小テスト・レポート40%、定期試験60%をおよその目安として、総合的に評価します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板(ポータルサイト含む)で指示します。			

オフィスアワー	火曜日～木曜日の第4時限の時間帯 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	ミクロ経済学は、マクロ経済学も含めたすべての経済学分野の土台となる学問領域です。理論を学ぶと無味乾燥だった数学や数式の価値がわかり、興味が湧いてきます。是非、実践的に役立つように習得してください。